

あなたが“裁く側”に選ばれたらどうしますか！

国民がえん罪の 共犯者にされる 裁判員制度

浅野健一
ジャーナリスト・同志社大学教授

09年5月21日から実施される裁判員制度。一般国民が重大犯罪の刑事事件裁判に参加するこの制度は、これに先駆けて実施される犯罪被害者の裁判参加制度とあわせて、あまりにも問題点が多い。このままでは「裁判員になった国民がえん罪の共犯者にされてしまう」と訴えるジャーナリスト・浅野健一氏が、「人権と報道」の立場から裁判員制度の危険性を語る。(聞き手・編集部)



裁判員制度導入に向けた模擬法廷(時事通信社 提供)

「人権と報道」の立場から見て裁判員制度の何が一番問題でしょうか。

守秘義務を負う裁判員には取材できない

たくさん問題があります。裁判員法は「裁判員は……評議の秘密その他の職務上知り得た秘密を漏らしてはならない」「……漏らしたときは、6月以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する」などと定めています。また裁判員に「接触してはならない」とも定めています。つまり裁判員は守秘義務を負い、マスコミは裁判員には取材できないということです。

裁判員制度と類似した陪審制・参審制(注1)をとっているこの国でもこんな規定はありません。これだけでもこの裁判員法はおかしいのです。

私は一般市民の犯罪、たとえば秋葉原の事件、秋田の児童殺害、光市の事件などは、真相が分からない裁判開始前において、被疑者や被害者のことを細かく報道する必要はないし、原則として名前もいらないと思います。たとえ報道するにしても、親が子どもを殺した、子どもが親を

どの汚職・疑獄事件、そして松川事件やJR浦和電車区事件のような権力によるでっち上げ事件、違法不当な捜査だという疑いがある時は、捜査段階でも力を入れて報道しなければいけません。

結局、この裁判員法は権力犯罪と社会の病理の現れともいえる一般市民の犯罪事件と一緒にして、すべて同じパターンでやろうとしているのです。

鹿児島・志布志公選法違反事件や富山強かん事件のように、警察が証拠をねつ造したり、まったく無関係な人を犯人にデッチ上げていることが目の前で起きているにもかかわらず、それを裁判員は絶対に外に漏らしてはいけない、新聞記者は裁判員に取材してはいけないというのです。しかもこれを犯したら罰せられるのです。

たまたま裁判員になった市民が知り得た情報を漏らして犯罪とされる危険性があるという理由で、みんな裁判員を辞退したらいいいと思えますよ。どこかの飲み屋で話してしまいかもしれないし、おそらくずっと黙ってはられないでしょうね。あるいは告発しなくてはいけないと新聞社に電話したら犯罪者にされてし

注1 陪審制と参審制

素人である市民から選ばれた陪審員が、専門の裁判官とは独立して事実問題について評決を下す制度。アメリカ、イギリスに特徴的な司法への市民参加方式であり、刑事訴訟を決定する大陪審(起訴陪審)と、法廷に提出された証拠に基づき事実関係を審理して有罪・無罪を決める小陪審(審理陪審)があり、一般に陪審という場合、後者を指す。ドイツやフランスなどでは、一般市民から選出された参審員が職業裁判官と共に合議体を構成して、事実問題・法律問題を問わず審理・裁判する参審制がとられている。

日本でも、1923年に陪審法が制定、陪審が実施されてきたが、戦時中に停止されたままになっていた。司法制度改革審議会は、日本独自の国民参加のあり方として裁判員制度を提言し、2004年5月裁判員法が成立した。(知恵蔵)

殺したと疑われている、そのことが社会の病理に根ざした事件ではないかといった記事は必要だとは思いますが、個々の事件を大騒ぎして報道する必要はないと思います。

ただ権力犯罪は別です。いま起きている防衛省をめぐる事件、昔のロッキード事件、リクルート事件な

裁判員制度

1 2009年5月21日から裁判員制度が実施される。裁判員制度とは重大犯罪の刑事事件において、裁判員が裁判官とともに審理に参加する制度。裁判員法第1条では「司法に対する国民の理解の増進とその信頼の向上に資する」との趣旨を謳っている。

原則として裁判員6名、裁判官3名の合議体で行われる。被告人が事実関係を争わない事件は裁判員4名、裁判官1名で審理ができる。

2 裁判員選任

① 毎年、市町村選挙管理委員会が衆議院の公職選挙人登録名簿から「くじ」で次年度の裁判員候補予定者を選び、「裁判員候補予定者名簿」を作成して地方裁判所に提出。受け取った裁判所はこれをもとに次年度の「裁判員候補者名簿」作成。名簿に記載された者に通知。

② 裁判所は裁判員候補者名簿の中から事件ごとに呼び出すべき裁判員候補者を「くじ」で選び、質問票と呼出状を自宅に送付。

③ 裁判員候補者は質問票に回答し裁判所に送付。この回答によって呼び出しを取り消される場合がある。

④ 裁判所に出頭した裁判員候補の中から、非公開で裁判員と補充裁判員が選任される。